



礼儀とは何なのでしょう？(礼儀)

いま世界で注目を集めているサッカーワールドカップ。現地カタールでの日本人サポーターの行動が注目されているようです。それは、試合終了後に会場のごみ拾いをしていることです。また、日本代表も、使用したロッカールームを綺麗にしているというニュースもありました。

礼儀とは、相手の人格を尊重し、相手に対して敬愛する気持ちを具体的に示すことです。つまり、心と体が一体となって表れることであり、礼儀正しい行為をすることによって、**自分も相手も気持ちよく過ごせるようになる**ということです。具体的には**挨拶や言葉遣い、所作や動作などの作法**があります。

今回は、1年2組の授業を見てみたいと思います。礼儀の中でも「挨拶」に焦点を当てた授業でした。学校でも元気よく挨拶をしましょうと声をかけています。道徳の時間には、挨拶をしてもらうとどんな気持ちになるのか、挨拶をするときにどんなことが大切なのか等を、発達段階を踏まえて考えています。この機会に、お家でも一度「挨拶」について話してみしてほしいと思います。

○「特別の教科 道徳」の様子

1年2組での『どんなあいさつをしますか(礼儀)』の授業の様子

※本時の学習は以下の視点で進めました。

- ・礼儀正しい行動には、場面によってさまざまなものがあるという視点。
- ・よりよい人間関係を築くためには、相手に対して真心のこもった挨拶をして丁寧な言葉遣いが大切であるという視点。

礼儀の目標

低学年・・・気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること。

中学年・・・礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること。

高学年・・・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接すること。

